

## アジェンダ 21 ながの-環境行動計画-2018（案）に対するパブリックコメントの結果について

- 1 市民意見募集の目的      アジェンダ 21 ながの-環境行動計画-2018 の策定にあたり、新アジェンダ案を公表し、環境保全活動に取り組まれている皆様をはじめ多くの市民に公表し、意見等の提出を広く求め、これらを反映させる機会の確保を図るため実施した。
  
- 2 意見等の募集期間      平成 30 年 3 月 29 日（木） ～ 平成 30 年 4 月 20 日（金）
  
- 3 アジェンダ案の閲覧場所      ながの環境パートナーシップ会議ホームページ、環境保全温暖化対策課
  
- 4 募集方法      所定の用紙に意見及び必要事項を記入の上、直接又は郵送、F A X、電子メールにて送付した。  
（用紙は閲覧場所に設置。ながの環境パートナーシップ会議ホームページからもダウンロード可能。）
  
- 5 募集結果
  - (1) 意見等提出者数      1 人（窓口提出 0 人／郵送 0 人／FAX 0 人／電子メール 1 人）
  - (2) 意見等の件数      3 件

◆提出内容ごとの件数

分 野	件 数
1 はじめに（総論関係、序章）	2
2 わたしたちのめざすもの（各論第1章）	0
3 理想の街にむけて（各論第2章）	0
4 パートナースhipで進める（各論第3章）	0
5 資料	1
6 その他	0
合 計	3

◆意見等に対するながの環境パートナーシップの考え方

意見等に対するながの環境パートナーシップ会議の考え方	件 数
A すでに現アジェンダで対応中（新アジェンダ案でも引き続き対応）	0
B 新アジェンダ案で新たに対応（新アジェンダ案に反映済み）	0
C 新アジェンダ案を変更し新たに対応	3
D 新アジェンダ案は変更せず、今後の取り組みにおいて参考又は検討する	0
合 計	3

## 6 意見等の内容とながの環境パートナーシップ会議の考え方

No.	区分・テーマ	意見・提案の概要	ながの環境パートナーシップ会議の考え方	対応区分
1	① SDGsの記載等	2ページの「策定・改定の経緯」の中でSDGsに触れていますが、このSDGsの日本の動向についても若干触れた方がよいのでは。	日本の動向について、まったく触れていないので簡潔に説明を記載します。	C: 新アジェンダ案を変更し新たに対応
2	② SDGsの記載等	3ページ本文中の「2030 アジェンダ及びパリ協定の目標達成の一助となるよう…」について、「一助」は控えめ的な言葉なので、「寄与」という言葉の方が意味合い的によいのでは。	次のとおり、「一助」と「寄与」の意味を確認した結果、SDGsを念頭に活動を推進していくには、「寄与」という言葉の方が意味合い的に合致するため「寄与」に変更します。 ・一助…多少の助け。何かのたし。 ・寄与…役に立つこと。貢献。	C: 新アジェンダ案を変更し新たに対応
3	③ SDGsの記載等	参考資料(59ページ)でSDGsの内容について、17の目標(ゴール)のアイコンと、その説明が別々に記載されているので、わかりづらい。	わかりやすくするため内容を変更します。	C: 新アジェンダ案を変更し新たに対応